

試合番号 : 380	試合会場 : 松任総合運動公園体育館	観客数 : 746		
開始時間 : 14:00	終了時間 : 15:50	試合時間 : 01:50		
主審 : 沢田 元	副審 : 品川 美帆			
PFUブルーキャッツ	通算 6勝 10敗 ポイント : 20	19 第1セット 25	KUROBEアクアフェアリーズ	通算 3勝 11敗 ポイント : 8
監督コメント 第1セットは昨日の敗戦を引きずる形となったが第2セット以降、自分達の強みを生かせる展開になり勝利できた。来週の試合に向けてサーブ練習を積み重ねていきたい、昨日今日のホームゲーム、沢山のご来場を頂き、ありがとうございます。	3	25 第2セット 22	1	監督コメント 昨日の勝利から第1セットは良い形に入ることができた。しかし、第2セットからの相手チームの対応に攻撃を決定することができず、流れを引き寄せることができなかった。来週のゲームに向けて準備し、全員で戦いたい。
		25 第3セット 20		
		27 第4セット 25		
		第5セット		
要約レポート 第1セット、PFUブルーキャッツはアコスタの強烈なアタックが炸裂するも、KUROBEアクアフェアリーズはイヴェギンが随所で得点をし、リードを広げたKUROBEがセットを先取した。第2セット、序盤は1点の取り合いとなるが、KUROBEがイヴェギンのブロック、アタックで抜け出すと徐々にリードを広げる。PFUはバルデスの強力なサーブ、途中交代のセッター島原のトスワークで追いつくとリベロ林の好レシーブから、細沼のアタック、ブロックで勢いに乗りセットを取り返す。第3セット、PFUは序盤からバルデスのサーブ、ジャンのブロックで流れに乗る。一方、KUROBEはコクラム、高橋らの活躍で点差をつめるも、連続サーブミスからベースを崩し、畳みかけたPFUがセットを連取した。第4セット、KUROBEが高橋、コクラムらの緩急をつけたスパイクで4連続得点するも、PFUはジャンのサーブをきっかけに流れを引き戻し、バルデスのバックアタックに守備陣の好レシーブも光り、粘るKUROBEとの白熱したラリーを制し勝利を収めた。				

試合番号 : 381	試合会場 : 四日市市総合体育館	観客数 : 450		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:44	試合時間 : 01:44		
主審 : 戸川 太輔	副審 : 増岡 三佳子			
トヨタ車体クインシーズ	通算 8勝 8敗 ポイント : 22	28 第1セット 30	埼玉上尾メディックス	通算 10勝 4敗 ポイント : 28
監督コメント 0-3で負け、非常に悔しい試合内容でした。この結果をしっかりと受け止め、来週のゲームに向け修正し、前を向き戦う準備をしていきたいと思えます。ホームゲーム2試合の応援、ありがとうございます。今週の悔しさを来週につなげ頑張りますので、引き続きご声援のほどよろしくお願い致します。	0	16 第2セット 25	3	監督コメント 四日市大会2連勝することができ、嬉しく思います。第1セット、トヨタ車体クインシーズの堅い守りの前に、私たちのトランジションアタックが決まらず、流れをつかむことができませんでした。終盤、山岸の気迫のレシーブでセットポイントを取ることができました。このゲームは攻め続けることがテーマだったので、ディフェンス面でも攻めの姿勢を発揮することができました。来週も目の前の1点を大切に、ご声援ありがとうございます。
		15 第3セット 25		
		第4セット		
		第5セット		
要約レポート 現在リーグ5位の埼玉上尾メディックスと同6位トヨタ車体クインシーズとの2戦目。第1セット、昨日のフルセットの熱戦そのまま、トヨタ車体はダニエル、大川、ハッタヤのアタックで、埼玉上尾は佐藤、サンティアゴ、内瀬戸のアタックなどで、得点を重ねる。15-15から内瀬戸、青柳のアタックで抜け出した埼玉上尾を、トヨタ車体は大川、ダニエル、鴨原のアタック、周田のサービスエースなどで逆転に成功。その後デュースとなり、30点までもつれた第1セットは、埼玉上尾が取った。第2セット序盤、トヨタ車体はダニエル、ハッタヤのアタック、大川のブロックで4点をリードするが、埼玉上尾は、佐藤、岩崎、青柳のアタックで追いつき中盤へ。青柳のブロックで逆転した埼玉上尾は、佐藤、内瀬戸のアタック、岩澤のサービスエースでリードを広げ、セットを連取した。第3セット、勢いに乗った埼玉上尾は、序盤から青柳、ロソ、内瀬戸のアタックなどで大きくリードする。トヨタ車体は、鴨原、ハッタヤのブロックや大川のアタックなどで追いつけるが、その後もサンティアゴのブロックやロソ、佐藤のアタックで得点した埼玉上尾がこのセットも取り、ストレートでこの試合に勝利した。				

試合番号 : 382	試合会場 : サンアリーナせんだい (薩摩川内市総合運動公園総合体育館)	観客数 : 1,175		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:06	試合時間 : 02:06		
主審 : 本間 明	副審 : 木内 誠二			
ヴィクトリーナ姫路	通算 2勝 14敗 ポイント : 9	25 第1セット 20	デンソーエアリービーズ	通算 7勝 9敗 ポイント : 22
監督コメント 本日も鹿児島薩摩川内市でのホームゲームに大勢の皆様にご来場賜り、誠にありがとうございます。選手たちはとてもアグレッシブに戦ってくれました。試合内容としてもおおよそ計画通りに進めることができ、選手たちの精神的な成長を感じられる試合となりました。次週に向けて今日のゲームを振り返り、修正点を明らかにして良い準備を進めたいと思えます。引き続き、ご声援をよろしくお願い申し上げます。	1	26 第2セット 28	3	監督コメント 昨日の試合よりも攻めるゲームにしていこうと今日の試合に臨みました。序盤は攻めの気持ちが高まり得点に繋がらずに、苦しい展開となりました。第2セットからは攻めのサーブからブレイクを取れました。この2日間を通して、対応力を培うことが出来たと思います。年が明けてからの連勝の勢いを来週の郡山市でのホームゲームに繋げられるように準備をしていきます。2日間の熱い声援でチームを後押ししていただき、ありがとうございます。
		17 第3セット 25		
		17 第4セット 25		
		第5セット		
要約レポート 薩摩川内市での初のホームゲームとなるヴィクトリーナ姫路とデンソーエアリービーズの2戦目。第1セット、両チームのスパイクがよく決まり、中盤までは互角の展開となった。終盤、姫路はブラクのサーブで2点リード、さらに宮部のスパイクで連続ブレイクし、第1セットを先取した。第2セット、デンソーはネリマンにボールを集め、中盤までに4点のリード。追う姫路は、ブラクのサーブと宮部のサーブで23-23と同点に追いついたが、最後はデンソーのサービスエースでセットカウント1-1とする。第3セット、序盤に姫路のブラクがケガで途中交代となる。その後ミスが続き、中盤から終盤までにデンソーが6点のリード。そのままの流れでデンソーが連取をし、セットカウント2-1となる。第4セット、デンソーは第2、第3セットを取った流れに乗り、序盤からリードする。中盤からデンソーの中元とネリマンのサイドからのスパイクが決まり、大きく姫路を突き放し、セットカウント3-1で勝利した。				

試合番号 : 383	試合会場 : ジップアリーナ岡山 (岡山県総合グラウンド体育館)	観客数 : 1,300		
開始時間 : 13:30	終了時間 : 15:17	試合時間 : 01:47		
主審 : 國頭 亮太	副審 : 長崎 有紗			
岡山シーガルズ	通算 3勝 11敗 ポイント : 12	22 第1セット 25	東レアローズ	通算 12勝 4敗 ポイント : 35
監督コメント 先日の試合に比較し対応力が上がってきたが、第1、第3セットの際にゲームを取り切れなかったことに悔が残る。特に第3セットはチャンスの反響を生かした工夫が今一歩足りなかった。続く来週のホームゲームに向け、修正し頑張っていきたい。2日間に渡り、大きな拍手での後押しを頂きました。ありがとうございます。	1	25 第2セット 21	3	監督コメント 岡山シーガルズの粘り強さに流れを持っていかれる場面もあったが、選手が自分達の手で流れを引き寄せることができた。粘りの部分でも、途中からレシーブポジションを修正してラリーを取り切ることができて良かった。本日は応援ありがとうございます。
		25 第3セット 27		
		11 第4セット 25		
		第5セット		
要約レポート ホームゲームで何とか連敗を止めた岡山シーガルズと東レアローズの一戦。第1セット、序盤から東は石川・野呂を中心に得点しリードを奪う。岡山は佐伯・中本の攻撃などで反撃するが、東はクランや石川の強打で得点を重ね、セットを先取した。第2セット、中盤まで岡山が地元の大応援に応え、多彩な攻撃で得点を重ねリードを奪う。中盤に入り、東は石川や野呂の活躍などで追いつけるが、岡山は付や佐伯の得点で逃げ切り、このセットを奪った。第3セット、岡山は高柳や長瀬、東はクランや石川を中心に得点を重ね一進一退の攻防が続く。中盤に入り東はクランや石川の得点で徐々にリードを広げる。粘る岡山も宮下や佐伯のサービスエースで追い付きデュースに持ち込むが、最後は石川が連続でアタックを決め、このセットを奪った。第4セット、勢いに乗った東は序盤から野呂や小川の攻撃で大きくリードを奪う。岡山も付や高柳の攻撃などで反撃にかかるが、その後も東は石川の攻撃などで得点を重ねこのセットも奪い、昨日に続き岡山のホームで連勝を飾った。				

試合番号 : 384		試合会場 : SAGAプラザ総合体育館 (佐賀県総合体育館)				観客数 : 1,311	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:14		試合時間 : 02:14		主審 : 江口 祐一郎	
						副審 : 平田 敬基	
久光スプリングス		通算	10勝 6敗 ポイント: 29	29	第1セット	27	日立Astemoリヴァーレ
監督コメント 昨日の悔しい敗戦後、選手たちでミーティングを行い、本日の試合に臨んだ。相手のミスに助けられることもあったが、チームとしては、今日のベストを出せたと思う。まだまだ改善するべきところは多いが、リーグ戦を重ねながら、成長していききたい。 2日間、熱い応援ありがとうございました。来週もホームゲームとなりますので、引き続きよろしくお願いします。			3	23	第2セット	25	監督コメント 本日も応援ありがとうございました。昨日よりも厳しい内容になると予想し、気合を入れ挑んだ試合でしたが敗れてしまいました。上位のチームに通用するプレーもあり収穫のあった試合でもありましたが、まだ足りない所も多くあると確認できた試合でした。 今後の練習で1つずつ改善し、強いチームを作っていこうと思いますので、来週も応援よろしくお願いします。
				25	第3セット	15	
				25	第4セット	21	
					第5セット		
要約レポート 第1セット、日立Astemoリヴァーレは入澤の変化のあるサーブや長内のスパイクなどで一歩前へ。中盤、久光スプリングスはファンヘッケの攻撃で徐々にペースを掴み、デュースの、末久光が先取した。 第2セット、久光は荒木のスパイクで点をとるが、日立Astemoも長内のスパイクで応戦し一進一退の攻防となる。中盤、久光はファンヘッケの強烈なスパイクで突き放しにかかるも日立Astemoは野中のスパイクなどで追いつく。最後は日立Astemoの渡邊がブロード攻撃でセットを奪い返した。 第3セット、序盤からお互い一歩も引かない展開が続く。中盤以降、久光はファンヘッケのスパイクや荒木のブロックで主導権を握り、危なげなくセットを奪取した。 第4セット、序盤から互いに好守備が続き白熱した展開に。久光は米の巧妙なトスから多彩な攻撃をしかける。日立Astemoもこのセット先発出場の上坂が奮起し互角の展開に。終盤久光が一歩抜け出し、最後はファンヘッケの鉄壁ブロックで熱戦を制した。							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
						副審 :	
		通算	-勝 -敗 ポイント: -		第1セット		通算
監督コメント							-勝 -敗 ポイント: -
要約レポート							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
						副審 :	
		通算	-勝 -敗 ポイント: -		第1セット		通算
監督コメント							-勝 -敗 ポイント: -
要約レポート							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
						副審 :	
		通算	-勝 -敗 ポイント: -		第1セット		通算
監督コメント							-勝 -敗 ポイント: -
要約レポート							